

令和3年度第1回常総市公共交通活性化協議会 会議要旨

■開催

令和3年4月26日（月）午後2：00～2：50 常総市役所市民ホール

■出席

委員：海老原委員（女性団体じょうそう事業委員会），篠崎委員（自治区長連絡協議会），尾上委員（常総市身体障がい者福祉協議会），倉持委員（市議会），◎鈴木委員（筑波大学），鈴木委員（茨城運輸支局），牧瀬委員（茨城運輸支局），富山委員代理（県交通政策課），早瀬委員代理（常総工事事務所），大郷委員（常総警察署），宮島委員（関東鉄道株鉄道部），岡野委員代理（関東鉄道株自動車部），相山委員（株アイヤマ観光），松村委員（三妻タクシー），谷田部委員（関鉄労組），浅野委員（市商工会），細谷委員（市社会福祉協議会），小林委員（市長公室長），堀委員（福祉部長），小島委員（産業振興部長），戸塚委員（都市建設部長）

※◎：議長

事務局：岡野常創戦略課長，江面補佐，大崎係長，富山主幹，鈴木主事（記録者），根本主事，柴田主事（市社会福祉協議会）

■内容

報告第1号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

議案第1号 コミュニティバス運行に向けた検討について

■協議内容（◆：議長，●：委員，▲：事務局）

開会 午後2：00

【報告第1号】予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について

- ： 実利用者というのは，重複がない個人データか。
- ▲： お見込みのとおり。実利用者838人が利用した回数のがべ利用者数である。
- ◆： のべ利用者数を実利用者数で割ると，1人あたりの年間平均利用回数がかかる。

- ◆： コロナ禍は波があったが、ふれあい号の利用にも波はあったのか。
- ▲： 1日あたりの利用者数で見ると、多い時期は約80人、少ない時期は約40人であった。
- ◆： それによるお断り件数への影響はあるか。
- ▲： 10月に車両が1台減少して5台での運行となったが、昨年度との比較では大きな影響はないように見える。

【議案第1号】地域公共交通計画の策定について

- ： 市では、水海道駅からポリテクセンター茨城への送迎を行っている。水海道駅と小絹駅の間に新駅が設置されるまでの運行という取り決めだが、このご時世、新駅の設置は現実的ではない。ポリテクセンター側と何度も交渉しているが調整がついておらず、送迎車両も老朽化している。コミュニティバスを来訪者にも対応する移動手段とするのであれば、水海道駅からポリテクセンターまでをルートに加えていただくことは可能か。
- ▲： ご意見については庁内で共有していたことであるが、計画書73ページに記載したイメージ図をたたき台として本日お示ししている。今後、ポリテクセンター方面へ運行できるかも検討したいと思うが、ベースとなる1便あたりの運行時間の中で鬼怒川西部地区の起終点や他の経由地とどう調整するかになる。
- ： 個人的にはルート設定いただきたいという気持ちである。ルートの最終決定はいつごろを予定しているのか。
- ▲： 令和4年10月からの運行から逆算し、現時点の目安としては、本年の9、10月くらいが目途と考えている。コミュニティバスの運行計画としては、今年度中にまとめる。今後はコンサルタント業者に調査等を依頼する予定である。
- ： このイメージでよいと思うが、私としてはもう少し細かな、各集落に入り込めるようなミニバスを想像していた。本日お示しいただいたのは、路線バスの代替としての意味合いが大きいと思う。道の駅との接続についてもまちの活性化にはよいと思うが、道の駅へは自家用車の利用が大多数だと思う。それよりも、地域のお出かけできない市民のための移動手段を構築してほしい。今後、検討いただけるか。
- ▲： コミュニティバスは路線バスとふれあい号の間に位置づける移動手段であり、ルートについてもあくまで目安とお考えいただきたい。これで決定ということではなく、ご指摘の件や実際のニーズを踏まえて今後の検討課題とさせていただきたい。
- ： 鉄道駅と観光施設等がつながることで、遠方からの利用者にとっては貴重な移動手段になると思う。他市町村でも道の駅へのコミュニティバスが運行されており、常総線との連携を考えるうえでは観光という視点も取り入れていただけるとよい。

- ◆： 市役所を起終点とし、きぬ医師会病院を経由地としたのは何故か。
- ▲： イメージをお示しするにあたり、現地調査をして道路幅員や転回・待機場所を確認した。きぬ医師会病院には十分なスペースがないように見えたため、市役所が待機所となるように検討してみた。
- ： きぬ医師会病院への需要はあると思うので、ハード面の交渉もしっかり取り組んでほしい。
- ◆： ダイヤ設計に工夫が必要になると思う。

- ◆： 水海道ルートイメージ図は運行時間が約40分とのことだが、30分程度の運行が目安ではないのか。
- ▲： そもそもルートが長くなりがち。例えば、1台ではなく2台運行することで待ち時間の短縮を図ることも検討する必要があるかもしれない。

- ◆： 本日決定することとして、有償での運行ということに異議はありませんか。
- ： 異議なし
- ◆： ルート数については、水海道ルートと石下ルートの2ルートで異議ありませんか。
- ： 異議なし
- ◆： ルートのイメージについては基本的にはこのとおりとし、細かな点は今後調整・検討していくということによろしいですか。
- ： 異議なし
- ◆： ありがとうございます。今後も皆さまから意見をいただくことは多くあると思うが、都度会議を開催するのは難しい。何らかのかたちで委員の意見をいかなけるようにするべきと思うが、いかがか。
- ▲： そのようにしたい。会議でいきなり諮るのではなく、事前にお示しできればと考えている。
- ◆： 本日決定した方向性をもとに、今後も事務局、委員の皆さままで議論を続けていきたい。

・その他意見

- ▲： 前回の協議会でも申し上げたが、今年度は利便増進実施計画を本協議会において策定する。具体的な策定作業はコンサルタント業者に支援を依頼するが、業務発注も本協議会で行う。業者の選定や契約などは市に準じた手続きを進めていくが、委員の皆さまにもご協議をお願いすることもあるかと思うので、よろしく願いいたします。また、策定に係る費用について国庫補助の内示をいただいているので、事務局で申請の手続きを進めているところである。

閉会 午後2：50